

村上南小学校 第2回統合検討会

令和8年7月31日（金）18:30～ 村上市生涯学習センター 大中学議室

参集者：PTA保護者・保育園保護者：12名、学校運営協議会：5名、区長会：11名

学校：2名 合計：30名

1 開会

2 教育長あいさつ

教育長：本日はお忙しいところ統合検討会に参加いただきありがとうございます。前回に引き続き村上南小学校の統合検討会ということで開催させていただきました。前は特に保護者の皆様の考えがはっきりわからないというご意見を中心に、区長様方からも、次の合同検討会のステップに踏み込むことを判断するにはちょっと難しいということで、今回の開催となっていると理解しております。今日様々なことをご質問にお答えしたり、さらなるわからない点がありましたら、ご質問ご意見いただくことで、意見の交流を図って、できれば次の合同検討会のステップに進むようにお話し合いいただければ幸いです。限られた時間ではありますが、どうか皆様よろしく願いいたします。

3 これまでの経過及び今後の予定

市教委：それでは、次第の3、これまでの経過及び今後の予定ということで説明させていただきます。まずその前に、これ何回も言っているものなんですけども、まずこの統合にあたりまして、望ましい教育環境はということで繰り返しますがちょっと述べさせていただきます。まず子供たちにとって学校は確かな学力、たくましく生きるための体力を身につけるとともに、自分とは違う様々な個性に出会い多様な考え方を、身につけるとともに、豊かな集団性社会性を育むことができる環境が望ましいというふうな考えであります。各学校統合を進めるにあたっては、新しい教育環境を踏まえて、それを具現化するために、保護者や地域の方々そして学校と十分に協議を進め、合意形成を図りながら進めるとしてしております。4月のPTA総会、それから区長会総会でもお伝えしましたが、この十分に協議を進め、合意形成を図りながら進めるというのが大事だと思いますので、そのことを前提に説明させていただきます。まずスキームでございます。資料1を見ていただきたいと思います。最初、令和7年4月25日に、この統合のことについて、PTAそれから区長会の方に説明させていただきました。その後、ちょっと延び延びになったんですけども、そのについてアンケートを取ったということです。その後、これもちょっと遅くなったんですが、令和8年3月9日に、第1回目の南小学校の総合検討会を開催したと、ただそこで先ほど教育長が申した通り、次のステップに進めなかったということがありました。令和8年4月24日、こちらでもまた令和7年度と同じように、PTA、それから区長会の方に説明させていただきました。そこでPTAそれから区長会の方につきましては、今後、話をして次の段階へ進めるような形ということでお願いしてございまして、ただ私の方の事務局の方からは、ただ、もう一度統合検討会をさせていただきたいということで、本日、令和8年7月31日に2回目の統合検討会を開催するという運びになっております。このまま統合検討会が進みまして、その後、合同検討会それから統合推進委員会ということで、スキームの方には令和8年度から、そのあとの年度についてはまだ確定していませんけども、一応私どもの目指す年度に向けて話し合いをしていきたいということで、そのスキームの通りに実施しようとしております。3月9日に第1回統合検討会の方で、合意に至らなかったと、その中で確認なんですけども。いわゆるその場で宿題というか解決策をとということで言われたのが、まず1番目に、アンケート結果で、統合には反対、どちらかといえば反対と答えた方に、いわゆる不安を持っている方、そこに対する補完というかフォローが大事なんじゃないことで、そちらをぜひやっていただきたいということをその会議の方で伝えられたと思います。最

最終的にその後、令和8年4月24日のPTA総会で説明して、区長会の方からはPTAの保護者会で、そこで了承を得れば、次の段階へ進んでもいいよということで、区長さんの方から合意をいただいたということで、こちらは理解しているんですけどもそれでよろしかったでしょうか。はい。なので、実際は4月に行った保護者会、それによって合意を得れば、次の区長会の方で、PTAの方から合意を得たので、次に進んでもいいよっていうことを伝えたかったんですけども、そこ、ただそれだけでは伝えられないので、今回この統合検討会をもう一度開いて、その場で説明しながら進めていきたいと思っております。先ほど言った宿題というかその課題で、アンケートの結果で統合には反対、どちらかといえば反対と答えた方のいわゆる不安材料について補完という部分で、資料が先ほど言った統合に関するアンケート結果における、その他に学校統合で不安な気になることっていうA4の両面の方があります。こちらが自由意見の中で反対、どちらかといえば反対という方。と回答した方273世帯に対して48世帯、回答率で17.6%の方なんですけど、その方が今不安に思っていることっていうことで、まず、●6個のものに分けました。なぜ統合するのか、なぜ人数が減ると統合しないといけないのか理由がわからないで教えて欲しいとか、統合することを既定路線で話が進んでいるようだけど、今後そういったものの資料が欲しいと、ゆくゆく人数が減るのはわかってるけども、まだ大丈夫じゃないのかっていったところでそういった不安があるというところです。校舎については統合となればどちらの校舎を利用するのか気になります。まずそれが一番大事だと思います。学校行事についてということで村小、南小にも伝統ある学校行事などもたくさんあるので、それがなくなるのではないかというふうな不安があると、なくさないで欲しいということです。次の通学方法についてこれが多分一番大きなものだと思います。統合した場合はどちらかになれかは別として、どこの町が歩きでどこの町がバス通学になるのかその予定を知りたい。今は昔とは時代も変わり共働きなのでということで、家庭にとってはバス通になると時間が変わるということで、負担が大きいということです。ただ一方では遠くなるからバスを出しますは簡単ということで、歩いて目的の学校まで登校する、登校するまでに、教室で勉強する以上に子供にとって様々勉強になると思うのが、そういうことでバス通になることで、歩いたときに得られるものがないってというのは親として寂しいというふうな意見もありました。教育環境ということで、統合することにより、学校が荒れたりしないかと。子供たちの環境変化や成長に影響しないかというのが心配。これは子育て支援ということで学校統合だけじゃなくて、市の重要政策の1つでもあるのかなということで、子育て世代に明るい環境をぜひつくって欲しい、そういった子供を産みやすい環境づくりに力を入れて欲しいというような意見がありました。その時は反対、どちらかといえば反対という方々への補完ということであったんですけども、裏面が実は、賛成、どちらかといえば賛成、それからどちらとも言えないって方々の意見です。賛成なんだけどやっぱり不安を持っている方々の意見でございます。反対、どちらかといえば反対という方々と同じ、同じような不安を持っているんですけども。まずなぜ統合なのかといったところ、それから後者についてということで、調理場が古すぎて心配、学校だけでなく学童のことも、どうなるか心配していると、あとはその学校通学路で信号機がないとか、横断歩道がなくて、車通も多いので、そういった不安があるといったところでございます。距離が遠くなるので、保護者が行事で来校する際の駐車場を確保して欲しいということで、今は多分そういったイベントがある時って多分駐車場が必要になるということなんだと思います。そういったところも心配しているのかなというところでございます。実際村上小学校と南小学校で、どちらの校舎も両方比べたこともないので、なのでどっちがいいかっていう判断できないというような形、そして、学校の跡地がどうなるかも廃墟になると、いわゆる治安が悪くなるんじゃないかっていうような不安を持っていると。通学方法について、こちらはさっき、同じように今やっぱりバスのことが一番不安というか、心配になっているのかなというところで、先ほど言ったように共働きの方も多いので、自分の出勤時間に間に合わないことが不安とか、それから通学の学区が遠いのでスクールバスが出ないと困ると。あとは仮にバスがあったとしても、登下校で

歩くという運動がなくなってしまうので、バスだと運動をする機会がないから、その体力の心配をしているっていうような、バスに対する考え方でございます。あとは教育環境とか、ついては、子供たちの不安や混乱がないように配慮を願いたい。それから、これもさっきも同じだったんですけども、保護者用の駐車スペースの不安がある。また、あとはその兄弟がいるの体操服などを盛りができないのは困るということで、統合するとどちらかの体操着になるかもしくは、新たな体操着になるかという、新しく買わなきゃいけないのかっていうような不安。それから通学距離が遠いとその分早くでないと間に合わない、仕事に困るということで家庭の事情とかっていったところもそういった不安というか、そういったものがありました。アンケートの結果、反対どっちかといえば反対の方もそうですし、賛成だとしても大体同じような不安要素を抱えているのかなといったところがアンケート結果見て見えたところでございます。

次に、「学校統合について保護者の意見に対する市教委の回答」というものがありまして、こちらが村上小学校南小学校に限らず市内でも統合する学校が何校かありますので、そこで出た意見、等々、これまで出た意見に対して QA 方式で回答しているものであります。こちら基にちょっと説明させていただきたいと思います。QA については、20 個ぐらいありまして、先ほどの不安要素に対する答えも大体網羅しているような形になるかなと思ってました。Q1、これはもう全体の本論になると思いますけれども、子供たちのために望ましい教育環境が必要であると思うが、不安が残ったままで会議の場についても、何となくあまりいい機会にはならない。今までの統合でお互いの学校を知る機会を設けるとか、不安解消に向けてどういうふうにやってきたか教えて欲しいというのがありました。今 10 年の 4 月に統合が決まっております。朝日地域では小川小学校と朝日みどり小学校の、合同検討会のときに、お互いの学校の話をしてたりとかしている中で、最終的にはそれぞれの学校で見学をしに行ったりということで、どんどんそれぞれの学校のことを聞きながら、実際に学校見ながら不安解消していったっていうことがあるので、この先多分、そういった機会が合同検討会等になっていくと、やっぱり何もしない状態では話できませんので、そういったところでどんどん不安を解消していくのかなというふうに思っております。Q2 の学校独自の行事がなくなるのではないかとといったところが、先ほどの意見にもありました通り、両校でいろいろな学校独自の伝統的な事業を行っております。特に村上大祭関連の行事、村小だったらミニ村上大祭とかっていうのがあったりとかして、そういったものが統合することによって、なくなるのではないのかっていうことで、不安を持ってる方がいるらしいんですけども。そういったところはぜひ残すような形で、強く要望するってことが大切なかなと思ってました。あとは村小であれば、メロディオン鼓隊いわゆるメロ鼓隊というのですかね。それと南小学校だとマーチングっていうものがあって、そういったものがどうなくなるのかなっていう不安ということでございました。ただ、それについては、私も南小の卒業生なんですけど昔は鼓笛隊と言って、多分、笛（リコーダー）がメインのものを、村小を南小のどちらでもやっていたと思うんですね。なので、もともとは村小でも南小でも同じような形でやっていたんで、そういったところは、形態がどういうふうに今の状態で変わるかわかりませんが、次引き継がれるのかなあというふうに思っております。Q3 で、その地域に出る学習とか、地域の大人の関わりとかがなくなるのかなあという不安があると思うんですけども。そこはそんな変わることはないかなと思っています。両校の伝統の行事とかは引き継がれて今両校に関わるまちづくり協議会等々もありますので、そういったところと協働してやるっていうことで、そこまで統合によって、行事がなくなるっていうことはないかなと思ってました。Q4 は学校運営協議会さんの方からの意見だったと思います。子供たちが成長する過程で地域との関わりが大事な要素ですということで、実は昨日もその地域と学校を結ぶオープンセッションというのがやっていますので、そういったところは遠くなるからといって、なくなるものではないのかなというふうに思っております。Q5 統合となってどちらかの校舎を使うことになるが、それぞれどれくらいの改修が非改修費が必要なのかということで、こちらについては令和 8 年 3 月 9 日の

第1回の統合検討会のときにも多分質問があったものでございます。ということでその時のお話になりますが、その市内の小中学校の長寿命化工事をした場合ということで、何年か前に試算したものによるとっていうことでお話したものでございます。村上小学校の場合だと約16億3200万円は長寿命化工事にかかる。南小学校だと約18億9400万円なっているということで、この差というのは村上小学校の方が校地が広い分、金額的に多くなっていることだということでございました。下の方に長寿命化工事ということでこの工事をするので50年から80年にもつための大規模な工事ということになっております。実際そのじゃあQ6統合後に使用する校舎について、どのように決めていくのかっていったところです。前回のときにも質問がありましたけれども、今後開催していくこの後の合同統合検討会で検討し、PTAそれから、保育園保護者、学校運営協議会そして区長会の方々と決定していただくということになっております。使用する校舎については、両校で意見がすり合わない場合はそこの多数決等々になるかもしれませんが、これまで学校統合を既に済んでいるところだと、それほど、揉めたということはあまり聞いておりません。ただ、新校舎については、新たに建設するっていうことではなくて、既存の学校のどちらかを使うというふうなことで予定しております。次、Q7ですが、これも令和8年3月9日の第1回の統合検討会でも出た意見なんですけれども、教育委員会としてはどう考えているんだと。統合後の校舎はどちらになるかは決まっていないうことなんですかっていうことですが、これはどこの統合検討会でも同じこと言っているんですけども、どの校舎が選定されているかという、校地が広い、築年数が新しい、共同調理場がある学校が優先されてきたってことはこれまでに答えていたらしいんですけども、しかし、だからといって統合の校舎は、それだけで決めるものではございませんので、やはり合同統合検討会の方で、その両校の代表者が実際に先ほど言った通り校舎を見学したりとかして、決定するものとなっております。そのあと、Q8ということで、統合するとなると両方が閉校になりますかありますが、いろいろ統合のやり方があります。両校閉校のうえ新しい名前の学校とする場合、それから、一校のみを閉校としてもう一方の学校に統合される場合などあります。後者の場合だと学校名や校歌等はそのまま使用することになりますので、統合をどういうふうにするかっていうところも、この後の合同検討会で協議の上、決めることになっております。Q9統合の時期についてということで、予定ですと、令和11年度以降に統合という目標を持っておりますが、それが例えば、令和12年度以降に統合するという議論を合同統合検討会では可能なのかといったところでございます。こちらについては、統合の時期の決定のプロセスというのは合同統合検討会の、そのまた次の統合推進委員会で正式に決定することとなっておりますけれども、ただ、これまでも、他の地区での合同統合検討会で、統合の時期をもう1年おくらせたほうがいいのかというふうな議論が交わされて実際そういうふうな1年遅れたりとかっていうところもありますので、話し合い次第では、令和11年以降となっておりますけれども、ずれることもあり得るというふうに考えていただきたいと思います。Q10統合検討会で次の合同検討会に行かないという判断ができるかということで、絶対反対であれば、無理にっていうことではないです。次のQ11で仮に話し合ってた場合もそれも致し方ないと思っております。Q12子供たちが一番理解も納得をしなければいけないと思うが、子供たちにはどのように説明するかっていったところで、統合前から良好で交流した時間を設けたりとか、行事を一緒にしたらいいかっていうことは必ずやっていくところありますので、また村小、南小学校ですと親父の会とか、もう統合を前提にしていたわけじゃないですけど、その前から交流活動しております。（説明はここまでとして、質疑応答へ）話が途中になりますけれども、令和8年3月9日の統合検討会で統合に反対どちらかといえば反対から出た部分を補完するということで、意見に対する市教委の回答ということでちょっと示させていただきました。ちょっとまだ説明が足りない部分があると思いますけれども、以上、これも含めて、これから質疑応答の時間をとりたいと思いますけれども、よろしくお願いします。すいません。もし何か意見があれば、その場で挙手していただければマイクお持ちしますので、よろしくお願いします。

4 質疑応答

学 校：今日たくさん役員さん以外にも保護者の方はお見えになっていて、おそらくいろんなご意見をお持ちだと思うんですね。子供と一緒にするわけじゃないんですけど、授業のときにこうやって何か意見ありますかって言ってみても子供たちみんなしづらいんですけど、ちょっとお隣の人と話してみましようとか、グループでちょっと話してみましようかって言うとはどんどん出てくるんですよ。中学校のこういう検討会のときもすごく話しづらいついていう声が聞こえてきて、もっとフランクに話せるような時間があって、それを経てるといういいなっていう声があったので、そういうことも必要かなと思います。

市教委：すいませんありがとうございます。確かに今資料を渡してそれで説明してそれに対するして意見をとって、さすがに本当に出てこないのかなと思いますので。申し訳ございません、二、三分ぐらいちょっと隣の方とかと話をしてもいい意見があるようであればそのあと聞きたいと思いますのでよろしくお願いします。すいません。

保護者：ちょっと何をお話しというか、お聞きになりたいか、ちょっとわからない。ちょっと今日の趣旨がちょっとわからない。正直、皆さん、前回の統合検討会にも出ていますし、区長さんも多いと思いますし、我々役員は出ているのもあるんですけど、なのでこういうアンケート結果ありました、とかそもそも統合のスキームとか市の考えは多分一応わかっているつもりですけど、その上で今日は何をこの、例えば前回のこのアンケートの反対とか、どちらかといえば反対の方への措置であれば、3月にも言いましたし4月にも言ったけど早くアンケート結果だけ出してくださいと、保護者に、その時すぐ出しますっておっしゃって、もう3、4ヶ月経ってますけど、だからそれで他の一般の方々に出さないと、我々は十分わかっているんですけど、そっちの要は統合に不安があった方が、多分誰も普段から行政のホームページ自分から見に行く方って少ないと思いますし、そういう方がやっぱり具体的に統合って聞いても計画も、整備計画、さっき読んだけどここだと思うので、そういう方が一番不安を考えていると思うんでそういう人に対してアンケート結果がこういうことがちょっと不安に思ってたんです。それに対して市はこう考えていますっていうことを、回答してくださいよって3月に言って4月にも言って、出たのであれば、この後それでもまだ不安がある方はちょっと言ってくださいならわかるんですけど、今この場でこうお話ししたことで、細かく教えていただけたらと思い、その上で何を聞いたらいいいのかなんかちょっと正直ちょっとよくわからなくて。

市教委：はい。すいません。まずちょっと言い訳になるんですけども、議事録とか音声から、アンケート結果を保護者に出しますって言っていたところはわかっていたんです。正直それを確認しなかった私も悪いんですけども、保護者の皆さんとかには出したと思っていたので、それを前提に不安要素があるってところで、今回はそれについて補完する形で話をさせていただいたつもりだったんですけども、今アンケート結果が皆さんのところに渡ってなかったっていうのもわからなくて申し訳ないですけども、こちらとすれば、いろんな不安要素があった中で、令和8年3月9日の統合検討会のときに、それについて補完をしてくれとフォローしてくれと、それからじゃないと、その不安要素を持ったまま次には進めないよねってところだったものですから、今回出させていただきました。おっしゃるとおり、3月にも話をし、そして4月は学校に

行ったときは事前に質疑をいただいてそれに対して答えてきたといったところで、それも踏まえて今回、資料を出したものですから、こちら側とすると、もう皆さんがある程度わかっていた上で出したつもりだったので、そこはちょっと申し訳ないですけども、趣旨とすれば、不安要素を払拭したいっていったところが事務局の趣旨でございます。申し訳ございませんがよろしくお願いします。

保護者：ありがとうございました。それを踏まえて合同検討会進むかどうかを判断するにあたって現状不安なことがあればこの場で聞いてくださいという理解でよろしいですか。

市教委：はい。そうですね。一応説明したのですが、さらに他にもっと何か別なことで不安を抱えているということであれば、ぜひ言っていただければなということで、何か質疑ありますかっていうことでさせていただきました。よろしくお願いします。

保護者：今日はこれまでの経過と今後の予定についてということで、スキームはスケジュールを見ますと、何を議題にして、何を決めるのかということが書いてないですね。この計画だと本当に予定通りに進むのか、もう少し、何月何日までに何をするっていう部分がないと・・・（※ノイズがあり聞きとり不能）

教育長：私の方からお答えさせていただきます。村上小学校さんの方では次のステップである村上市教育委員会が村上小学校と村上南小学校さんの統合をご提案させていただいていることに対して、次のステップでそれを理解されたと。その上で、両校で話し合う合同検討会に進むということをご了解いただいております。村上南小学校さんの方ではまだご決断いただいておりますので、この2回目の統合検討会で何とかいろいろ不安はあるでしょうけれども、出し合う中で意見交換し合う中で、完全に不安払拭されるわけではないですけども、次のステップに村上小学校と話し合わせていただく機会にさせていただきませんかという決断を本日していただきたいのです。

保護者：ただ、本当に資料は見たらわかるので読み上げなくても結構です。今日はこれについて話し合いをして、これを決めていきますっていうのを最初に言ってもらってそれからの話だと思います。

教育長：はい。申し訳ありませんでした。

保護者：あとは、この不安についての払拭については、反対意見に対しての答えが出てないかどうか答えているのかわかりませんので、それについてはどうでしょうか。

教育長：そういうことを本日、繰り返しになりますがお出しいただければ、ご参加された皆様方にはお答えさせていただきます。何がネックになっているのか。

保護者：反対意見に対しての答えは、今日は出てないということです。

市教委：反対、どちらかといえば反対というところで、大体まとめるとこういった意見があると。それに対して、今回その回答の方で、大体思っていることはこういうことなのかなということで回答させていただいたので、それで払拭まではいかないかもしれませんが

んけども、前回の補完という形をとらせていただきました。

保護者：これだと答えになってないと思うのですが。校舎についてどちらになるのか不安だから統合に賛成できるとか、できないとかって言うてますし、その校舎がまず決まらな
いと。

教育長：そういうことに関しては合同検討会に入った段階で検討せざるをえません。なぜ今統合することが必要なのかということを、どちらの校舎を使うとかそういうことを抜きに考えていただかなければならないのです。この場では、村上南小学校の校舎を使うなら賛成だとか、村上小学校の校舎を使うなら反対だとか、そういうことはこの場では出していただかなくて結構です。学年2学級を作りたい、そういうのをできる限り長い期間維持したい、そして両校の校舎を長寿命化工事に20億近くかけてやらなければならないのですが、両校を改修することはなかなか財政的にも難しい。そういうことも今回の統合を提案するに当たって教育委員会として述べさせていただいております。そういうことを考えた上で、それでも統合に反対だとなると、教育委員会としてもどうすればいいかわかりませんが、何とかご理解いただきたいというのが教育委員会のお願いです。ちょっとお答えになってないかもしれませんが、ご理解いただけませんか。

保護者：なんかもう、それでいうともう3月から全く前進がなくて、3月の段階にアンケートを10月にしました。回答が出てないで、3月で初めて示された段階で反対とか不安を感じている人いるのがわかったから、その人達に措置するために、教育委員会として回答を早く保護者に出してくださいと。そしたら会議を持っていただいても当然全員なんてこられないから、アンケート結果も含めて、これだから出してくださいと。そしたらPTA同士であったときに自然と話もできるかなって、わかりましたと。4月の段階で、こちらにいらっしゃっていただいたときにもその話をして、すぐアンケート結果出しますって言ってもそれが出ないと、結局保護者で議論だって今アンケート結果を不安に感じている人がいることすら知らない状態でアンケートを10月にしたまま、それで今日これ来ていただいた方は当然ありがたいんですけど、当然全員がこれでいいわけで、でもせめて例えば1ヶ月前にはもう出したからもう、もうみんなそれで読んでいるよねって、もう持っているよねって言ったら、会議するから多数決取りましようならわかるんですけど、それしなかったら3月にやったことをまた繰り返しかで、またここで多数決でやると、いやいや、そんなもんでないってうだけなんだと思うんですけど、その点はいかがでしょうか。あと、議事録も出してくださいって言ったけど、3月の議事録出てないと思いますし、保護者が今知る状況がないわけです。我々みたいに役員に来る以外で、そこはどうお考えでしょうか。

市教委：これ本当に謝らなきゃいけない。私の引き継ぎは一言で言うともずかったと。私の方でそれは終わっているものだという勘違いとがまず1つあったんで。そこは本当に謝らなきゃいけないと思います。なのでこのアンケートの結果とかそういう不安要素については、どういった形でなっているのかちょっと確認して、本当に遅くなって申し訳ありませんが出させていたいただきたいと思います。すいません。

教育長：4月24日に説明に伺いましたよね。その時の、保護者の皆様の感触はどうだったの

しょうか。

保護者：一応その時の議事録あるじゃないかですけど、記憶違いかもしれないですけど、ほとんど30分か25分ぐらいしか時間がない中で、最初のスキームからお話していただいたので、質疑も2問ぐらいの時間しか取れなかったんで、その保護者の不安解消の場というような印象で私はまだ。改めてちょっと1年ぶりの会合だと保護者からしたら停滞してありましたというお話だけで、その時の話ですと、統合検討会に行からなくても、その前に保護者説明会、例えばですけど、何回かやってもいいと思うし、もうちょっと保護者にもわかるような形で作りますというお話があったと記憶しております。

教育長：今日幾ら話し合っても次のステップには進めない状況ですか。

学運協：本当に少子高齢化はもう後戻りできない。少子高齢化はもう目に見えて、どんどん私も学校のクラスが減っているのを見たりして、自分でも村上はどうなるのか不安になっているのです。それで、これはもうある程度、市の姿勢としては今後統合していったほうが絶対いいのだとは思われていると思うのですが、私はもう本当このまま行ったらどうなるのかって自分で不安なぐらいなのですが、その統合は何て言うのかな、やっていく方向をはっきりこう、出してないような気がするのですよね。なぜ統合で、複式学級級でだめなのか、こんな意見が出てくるのだから。0から考えるのだけど、何かそこがあやふやなのだと思うのですよ。その投げかけが、うん。だから、統合前提にして、じゃあどうやっていきますかって投げかけをしっかりとの方が、そこがあやふやだから前に進まないのだと思うのです。

教育長：おっしゃること私はわかります。本当1つ1つの不安を皆解消しなければ統合できないのかということになるのか、確かに公表することをちょっと、落ち度がありましたけれども、もうPTAの皆さんだっているんな全員ではないですけども声聞いて今日集まっていたいておりますよね。だからその声を出していただければいいのじゃないのですか。

保護者：ちょっと齟齬があって、これ3月ならそれはわかるので、3月のときの会議も、その時いたPTAの役員はみんな個人的には賛成だけど、ただ保護者がこういう意見がある以上保護者代表できているからちょっと採決できないっていう話だったから、保護者から不安解消できるように公表してねで終わったんですよ。それをしていないから、同じこと繰り返しですけど、だから別に私も個人的に統合賛成なんだけど、賛否は出せるんですけど、おんなじですね、要は結局その3月と全く同じことをしているので、ただ結局最終的には多数決で言えば当然いいと思いますし、それがどこまでこう措置するかっていう時に3月の段階では保護者が不安ないように、せめて全部ちゃんと出し、わかるようにしましょうねということです。

教育長：保護者には伝わってないわけね。まだ。少なくともこういうのをメール等ですぐお出しするという条件で、話進めてもらってよろしいですか。

保護者：いつぐらいになりますか。

教育長：明日にでもやります必ず、いいでしょ。

市教委：おっしゃる通りで、アンケート結果それから生データについて出すという確か私も議事録それから音声で聞いて、出しますっていうことだったんで、そこを確認しなかった私が悪かったので、そこはちょっと早急に出させてもらいます。出し方なんですけども、例えば学校の電子媒体等を使うということは可能ですか。

学 校：そちらから出していただければいいと思うのですが。

市教委：すみません。そうさせていただきます。

教育長：ちょっとあと個人名が特定されるようなことをちょっと配慮しなければならないので、そこはすいませんがチェックさせてもらって、発信させていただきます。その上で、話し合っていただけませんか。

（※アンケート結果は、8月13日に電子媒体経由で両校の保護者宛に配信）

区長会：村上小学校では合同統合検討会に入ってもよろしいと、こういう結論になったということをお聞きしたんですけども、村上小学校でもおそらく、似たような状況っていうかね、議論とか質問等があったと思います。その上でもって合同統合検討会進んでもよろしいというその状況を簡単にお聞かせいただけますでしょうか。

教育長：1回目の統合検討会で結論をお出しいただいたんですけども、確かに多くの皆さん不安は抱えておりました。ただ南小学校の皆さんほど、強く出しておりませんでしたので、最後結論出させていただく中で進んでもいいのではないかということになったんですが、いろんなお考えはお持ちだと思います。お持ちだと思いますけれども、次のステップの中で解決していけばいいんじゃないかというお考えのもとで賛成されたんだと思います。

保護者：最初このアンケートの資料をいただいて、こっちがその答えだと言われるまでわかんなかったんですけど、ちょっとその結びつけができなくて、せっかくアンケートあるのであれば、もうちょっと何だろう。今一度見ればそうだなっていう、さっき見返してみたんですけど、もうちょっとその賛成側の、何か微妙な不安な所があるんですけども、ちょっと結びつけて、この不安に対してはこれなんですよとかわかりやすいと、そうなんだねっていうのが、もう少し読みやすいかなと。今後その保護者さんたちにお配りする際、説明聞いて、ちょっとようやくもう理解があまりできなかったんで、わかったんでそういうふうにして配布していただければいいかなと思うのと、あと市の側で統合というのが大きな問題に対してね、統合しようというふうに話進めているんだと思うんですけども、この2学級にするとか、人数が少なくなってしまうからという話でやってる中で、そういう問題に対しても保護者さんの皆さんの不安っていうのが合致してない感じがして、バスだったり、あと体操着とかいろんな経済的な不安もあると思うんですけど、その配布するときにもうちょっとこういう細かいところに対しても、じゃ、こういうふうなケアができる可能性がありますとか、そういうのをどんどん多く提示していただければ、例えば統合中はもう息子の体操着の話で言えばもう両校のやつを使ってもいいよねとか、そういうふうな検討もできます

とか、バスに関しても何かいろいろとよくないと思いますけど、使うほうもいれば、使わなくてもいいよとか、そういういろんな細かいこと言っていかないと、多分この反対とかどちらかといえば反対っていうのはなくなる。もう重々承知だと思うんですけども、それを1回挟んでから、合同検討会に進んでいいと思うのです。そういう皆さんいろんな意見がありますので、そういうのをはさんでやれば進みやすいんじゃないかなと思います。前回お話ししたときも、何か同じこと聞いているなど前半思っていて、いろんな意見出た中でこういうことなんだねってのを少しずつ理解できましたので、もうちょっと詳しくその細かいところってどういうふうにケアするもしくはできるかっていうところを少しイメージしていただければいろんな話をまとまってくるんじゃないかなと思うんですけど、ちょっと長くなりましたけども、すいません。よろしくお願いします。

市教委：はい。ありがとうございます。先にこういう不安が出ている、それに対しての回答はこれだということで、不安要素に対して、回答にリンクすれば確かによかったと思いますので、例えばこの部分については、このQ1でとかQ2である程度回答はしてみたいなぐらいのことを書くともっとわかりやすいのかなと。あともうちょっと突っ込んだ話とか今、細かな話のところも、ちょっとずつクリアすればいいのかなというふうに思いましたので、このまま出すということじゃなくてその部分の意見を聞きながら、これに対する答えはここにありますよというように紐づけはしてみたいと思います。

区長会：Q11の合同検討委員会に行って、お互いに話した結果、反対だとなれば、これは致し方ないと思いますという回答ですが。市のほうではもう統合しようというふうに進んでいるんだと理解していますが、こういう回答をだすことによって、市は統合しなくてもいいよという考えになってしまうので、市の方はもう統合するんだよということを確認にははっきり、皆さんにお知らせするような形で合同検討会は必要とかそこに入るとかっていうことを打ち出したほうがいいんじゃないですか。

教育長：私もこのQ11については、こんなことを書いて皆様方にお渡ししてしまったっていうことは非常に反省しております。もしかしてこういう発言私したのかもしれませんがけれども、合同検討会に進んだら、統合しろということですので、その方向に向かって摺り合わせていかなければならないんです。最終的に多数決になろうが。なので、今おっしゃられたように、教育委員会としてはぜひ統合したいという考えで今この場でもお話をさせていただいておりますので、決まった以上は、できなかつたら仕方がないなんてことは、教育委員会としては言えませんので、ぜひ、話し合っていただければと思います。申し訳ありませんでした。

保護者：反対どちらかといえば反対の質問なんですけど、結局この内容っていうのは、合同検討会に進まないで解決できない問題だと思うんですね。中学校統合のときも、結局、校舎でかなりもめましたけど、結局、東中学校になって、一中の校歌を使ってくださいとかいう話も出たけどでも、それは統合推進委員会の方に進まないとならないよっていうことで、もうそれでいってしまったんですけど、学校行事についても、統合推進委員会の方で多分話し合いがされていたと思いますし、通学方法もそうですし、体操着なんかも多分卒業するまでは両方使ってもいいし、南小学校ではリサイクルで体操

着販売とかもしているんでそういうことを、もし村上小学校になったとしてもやってくださいとかっていうのは、多分、統合推進委員会で決めなきゃいけないことなので、この時点で、反対、どちらかといえば反対の意見をどうにかしないと次に進めませんよって言っていたら多分何回やっても、次に進まないと思うので、私たちが3月のときに大事な会なので必ず意見のある方は来てくださって何度も何度もお知らせした上での、何か意見がある方は今日もいらっしゃっていると思うし、その時もいらっしゃっていると思うし、でもその上でも来てないってことは私たちに一任されたっていうことなので、私達だけで合同検討会に進んでもいいかっていうのを決めてもいいんじゃないかなって思います。以上です。

市教委：はい。ありがとうございます。確かに随所随所で決めるところは合同検討会それからその先の統合推進委員会というふうに、決めるのことは、大体細かなところはそうなってくるので、今回のその反対、どちらが反対と言えれば意見に対するそのフォロー補完というのは、正直その先の合同検討会の方でさらに揉んでいくという形になっておりますので、南小学校のPTA会長様がそういうふうにおっしゃっていただけるということで、確かに私の理解不足からちょっとこの説明がうまくなかった部分は非常に反省しておりますけども、それも踏まえて、その先の合同検討会というところで、前回の3月9日のときもPTAの方で、そちらの方に進んでもいいということであれば、それに従うじゃないですけども、区長会の方でも、それでいいよってことを言っていたので、今日ちょっとうまくなかった部分は、すぐに修正して、保護者の皆さんにアンケートの回答とか、議事録も含めて、即出したいと思いますので、PTA会長がおっしゃる通りです。その先のことに先の合同検討会に進まないと、その先の細かいところが、検討できないっていうことを理解していただいてぜひこの場ではちょっとその方向で進めていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

教育長：必ず合同検討会それから次の統合推進委員会で皆様方から出された疑問に的確にお答えしていくということをお約束しますという情報も流させていただきますので何とかご理解いただければと思います。

学運協：皆様方から出た意見をこれから検討しますっておっしゃられてもいいけど、その検討委員の方に普段、疑問に思ったことなどいつでも受け付けますみたいな体質を作ってもらいたいです。

市教委：はい。それについては、この場でまとまらなければ何回でも説明しますということ、PTAの総会とか区長会の方でもお話をさしてもらったんで、ただ情報は逐一発信したいと思っておりますので、先ほどの回答の中の最後の方にも、進捗状況の広報についてということで、地域への配布物それからホームページを随時更新して新しい情報を提供する心がけると言っておりますので、そこはきっちりやりたいと思いますのでよろしくお願いします。

教育長：一昨日も村上第一中学校と村上東中学校の統合推進委員会開催させていただきました。そして、その中で2校会議という話し合う場があるんですけれども、両校の先生方、本当に忙しい中一生懸命話し合っていていただきました。教育目標から教育課程、学校行事、制服どうするか体操着どうするか、通学のあり方はどうすればいいのかと

か、事細かにすり合わせておりましたので、今回も両校の場合、必ずそうさせていただきますので、ご安心いただければと思います。

保護者：全員が賛成とかはありえないと思うので、ちょっとでも不安なくするために、さっき、やっていただくとおっしゃった通り、ちゃんとこういう不安に関しては、こう考えていますよってことをやっていただければ、もうそれで、統合を延ばすよりはいいのかなと私は思っております、その上で、すいませんちょっと保護者としてっていうよりも、一地域住民としてのご質問で、すぐにお答えできないと思います。次回の合同検討会まででいいと思うのですが、跡地ですね、学校の跡地で学校がなくなるというのはどこの地域も大きいハレーションあると思うんですけど、その時跡地どうするんだっていうと、跡地利活用検討委員会でやりますよって、これ回答になっているようで、ちょっと役所っぽくもあるなと思って、継続して協議していますっていうのはその通りだと思うのですが、じゃあ実際に過去に廃校になった学校はどれぐらい今、土器の収蔵庫以外とか実際に住民が関わる形で、利活用できているのかっていうのはちょっと関心があったので、そこちょっとすぐには出ないと思うので、ちょっとまとめて教えといていただければ、本当に大成功とかそういうのもあればやっぱ全部が全部、立地的そういうのだけじゃないと思うので、実際に廃校になったところで現実的にこんな使われ方していますっていうのを、ちょっとまとめて教えていただきたいなと思いますので、すいませんお願いいたします。

市教委：ご意見に対しましては利活用されている部分もありますし、調べて即出せるようにしたいと思いますのでよろしくお願いします。

教育長：今本当に今回の統合で村上第一中学校の跡地とか、それから小川小学校の跡地とか、市の重要な中心部にある学校が廃校となる予定ですので、特にそういうところの跡地をほったらかしにしておくことももちろんできませんので、市を挙げて利活用に取り組むように今話し合っているところです。

区長会：どちらかが廃校になるかと思うんですけど、その場合の利活用を考えていると、ぜひ考えていただきたいのが、今仮に南小学校が廃校になった場合、あそこは学区のほとんどの地区の避難場所になっているわけです。廃校になったとしても当然、維持管理も必要だと思うんですけど。あと皆さん方はあんまりご存じないかもしれませんが、柏崎の原発の避難場所が村上になっているんですよ、そういうのも考えて利活用というのを十分考えていただかないと、今駅前開発もまだはっきりしたアウトラインできているんですけど、本当に実行できるのかなというのが地区住民の皆さんも考えていると、本当に実行できる、いつできるっていうものがありますので、そういうのに加えて、仮に南小学校が廃校になった場合、それも含めて十分考えていただけたらと思います。

教育長：今のに関してですけれども、岩船中学校も廃校になります。だけれどあそこは特に津波の避難場所として絶対に確保しなければならない場所ですので、どのような跡地利用されようとも避難場所の機能をあそこから失うことはありません。決して避難所をおろそかにすることは市として考えておりませんので、今のご意見をしっかり受けとめたいと思います。

区長会：学校統合に関しては、本当に皆さんおっしゃる通り、もう実際命題があるので、やる方向で構わないと思うんです私も、ただ、市民の皆さんやお子様は一人一人みんな違うんですよ、考え方も違うし、大筋は進むということで構わないし、実際に進んでいったとしてですね、実際その中で、あそこの地区だと、こういうところでもう大変なんだとかですね、いろんなそういう後から出てくるものに対するものに関して、やっぱり目標が決まると、そこさえ決まっていくなかにエネルギーを集中人間しがちなんですけれども、実際、いろんなご家庭がいらっしゃるので、やっぱりそういう1つ1つの変化に対して、見てあげようという精査も失わないようにしてあげることが学校と逆に言ったら教育委員会も、あと1人2人雇ってもいいから、それを学校から情報を拾って細かいケアができるぐらいのシステムにしておかないと、問題が出てきてから、ああ、そうだったんですねでは、これから追いつかないので、そういった工夫もできればお願いしたいなと思っております。以上です。

教育長：ご指摘ありがとうございます。

区長会：今回の会議をもって、次の段階に進んでいく、そしてさらに次の段階に進むと、今スケジュール見ると、統合検討会で、今日の会議は合同統合検討会に進むための、そのための会議の位置付けですね。そして次のいつ開始されるかわからないけど、村上小学校と南小学校の会議が今度はさらに具体的なものを詰めていく統合推進委員会に向けての会議だというふうなふうに位置付けているわけです。そうした場合ですね。私が1つ気になったのは、このアンケートでQ10とQ11、これを示されると、ちょっと混乱するんじゃないかと思うんです。

教育長：Q11に関しては、これは撤回させていただきます。アンサーの方ですけども、Q10に関しては、もうどうしても駄目だとなったらもう対立しか、それを無理やり統合となると、良い統合になりませんので、現在今法内小学校と金谷小学校さんが統合年度が双方をすり合わせる事ができなくて止まっております。教育委員会は10年度統合を示したんですけども、金谷小学校さんは13年度じゃなきゃだめだと。そういう言い方されるんですね。それと保内小学校さんはそれに対して、もう令和10年度統合賛成と言ったんです。なのですり合わないんですね。なのでどうしてもどちらかがだめだとなれば、いくら教育委員会が学校の設置者として進めようと思っても、多数の反対の意見がある中で、合意形成を得ない統合というのはやはり私にはありえないと思いますので、何とかすり合わせないとだめなんだと思います。理解いただくように私たちも努力します。

区長会：それでね、Q11はもうないものというふうに見ているということでQ10は残すのですか、今のお話ですと、またこの場では統合に向けていいんじゃないのという、次の段階に行くんじゃないというふうに言っているのであれば、残しておいていいのかなどうか、そんな判断ですか。

教育長：逆に、できないっていうことをお示しすると、もう教育委員会統合ありきなのか、もう何が何でもやるという決まった道筋できているんだなっていうことを非難されるんですよ。いや本当に多くの、これまでされてきました。だから非常に私たちも苦しい立場なんです、教育委員会の願いはできるだけ理解してもらえるようにお伝えして

いるんですけれども、それでもだめだと。なぜ学年2学級じゃなきゃだめなのか、なぜ複式じゃだめなのかと言う意見も出てくるんです本当に、

区長会：教育委員会の苦しい立場からしたら、私はもう、令和6年3月に望ましい小中学校の教育環境整備計画方針ということも出ているのでこれ進んでいるんだと、そのためには一気に進むわけにいかないということで今やっているんだらうというふうに思っているわけなので、Q10とQ11があって、これを保護者の方に広報しますっていうことを言っているもんだから、逆に混乱しないのかなってちょっと心配したんです

教育長：クエスチョンは保護者の皆様から出されたことなので、それに答えなければならないのでアンサーなんです。

市教委：この市教委の回答っていう作りが、この南小学校に特化した形で作ったわけじゃなくて全体いろんなところであったものなんです。ただ、おしゃる通りに、この南小学校と村上小学校の合同検討会進むにあたっては、この言葉はいらないよっていうことで皆さん言っていたらいいのであれば、先ほど言った通り10と11については、これから例えば村上南小学校の保護者に出すとか市民の皆さんに出すところにはこれは削除してもいいのかなと思うんですけれども、そういうことでよろしいでしょうか。この場はやっぱりそういうことじゃないと進まないんだということで、私たちも理解しますので、Q10とQ11については、削除するという形を取らせていただきたいと思います。

区長会：この質問は質問で別に問題ないんだと思うんです。出たんだから。質問を勝手に削除するっていうのは、質問は質問でいいですよ。ただ答え方があるんです。賛成者が、どちらかの意見が多ければ、それに従うということが原則なんで、民主主義の原則なので、その通りであって、言っているって、皆さんが今多いんだから、これも問題ないんであんまりさ、だからこうやって答えるから消せなくなるんで、大多数の人間の意思に従いますって書いておけば、そのまま行けたと思うんですけど。今、言葉尻をとらえて、それにこたえようとする面倒くさくなるので、答え方はちょっと慎重にして、やって、今のところこっちが多いんだからそれでいけるっていうかどっちとは言っちゃうと問題だっていうた多い方の意見を尊重する形になると思いますって書いておけば、それはよかったのかなとは思っています。

教育長：ありがとうございます。

保護者：2ページ目のQ5のところなんですけれども、村上小学校も南小学校も、今後改修したときの概算の、当時なんですけど工事費出ておりますので、素人目で見るとかなり差があるのかなあと思うんですけれども、これまでのお話ですと改めてここでの確認なんですけど、教育委員会さんとしてはどっちの校舎にするっていう、誘導することはないけど、この2億6000万ぐらいの差は教育委員会さんとしても、別に高いからといって南小学校だめだよって考えるほどの差でもないという意味ですか。ただ、そこをもって、次の合同検討会でやっぱ高いから村上小学校だよっていうことにはならないのですか。

市教委：ならないです。あくまでも両方にはかけられないので、どちらかっていうことになると思います。金銭的に高い方がいいとか悪いとか、低い方の方にしてくださいってことにはなりません。そこは心配しなくても大丈夫です。

保護者：この金額の差があるからこっちに誘導するなんかは最終的にそういったことは教育委員会側としてはやらないということですか。

市教委：はい。

教育長：先ほど、市の施設整備担当から最新の情報を聞いてきたんですが、金額出しておいて申し訳ないですけどさらにかかります。どちらを改修するにしても20億以上のお金は現時点でいろんな資材の値上がりとかでかかるのではないかとされておりまして。ただし、両校大きな差はないと、説明してくれと言われてきましたんで、今ご指摘の通り、多くかかる方が不利益になるとか、そういうことは考えておりませんので、とりあえずこのままにしておきますけれども、教育委員会としてお答えさせていただきます。ありがとうございました。

区長会：今のお話しいんですが。多分40年経過されてるかと思うんですけど、耐用年数そろそろ来るんじゃないか。そうすると、今、市の財政からいって両校とも長期もたせる工事が非常に困難だと、だからどちらか一方にしたいと、財政的な問題かと。だからもう、今の議論の中でハード面とソフト面がごちゃごちゃになって、後から保護者の方に検討していただきたい項目とか、あと行政機関にお願いする項目とか、そういうのを整理していかないといつまでも、私にしてみればささいな問題でも、教育委員会の方も回答待ちとか何とかでも非常に何か混乱のもとだと思いますので、少しずつ問題事項を整理して、これは解決済みこれは要検討と、だからもう1年2年で結論を出す必要ないものがあるかと思います。まず校歌の問題とか、あと体操着の問題。こういうのは、こういうおつきい会議じゃなくて、小委員会みたいな、ちょっと私記憶が弱いので、市町村合併のとき合併協ができたかと思うんですけど、あのときも小委員会ってのがあったかと思うんですけど、そういうのを、これはPTAの方でお願いできればなど、これやっぱり地区の皆さんで諮らなきゃいけないんだということで、きちんと課題を整理して、少しでも皆さんが不安のないように前進できる方法を、教育委員会でも考えていただければと。それと、私この回答書を見たら、非常に直球の答えで、議会答弁もこのように答弁してくればいいんですけども、先ほど言われた通り、皆さんが読んで、それに反応していますので、回答書も変えて欲しいともうちょっと検討していただきたいというふうに考えております。

教育長：ご指摘ありがとうございます。

区長会：意見として受け取っていただきたいと思うんですけども、本当にこの何年間でですね、部活がなくなったり、子供たちに関する環境が大きく変わってきてるわけです。その中で実際は今年に至っても、中学生で運動する人間が実際どのぐらい減っているのかとかですね。例えば、そういう部活動のどこに社会スポーツに移行できなかったのか、できなかったところに問題がどこに行けなかったか、なぜいけなかったのかとかですね、行くと大変なんですけど。ただ、知ろうとすることは大事なので、情

報はやっぱり拾っておかないと、そこからそれをみんな面倒見ます。きりないようになんですけども、ただしようとすることは、やっぱり心の支えになるんですよ。だからできなくても理解してあげようとする気持ちが行政側や学校側にないとですね、効果を持たなくなっちゃうので、頑張ってそこはやっぱり認定あげたり、学力も然りです。そういう意味で、本当にみんなで子供たち見ていこうという姿勢はですね、頑張ってやっていただければと思います

教育長：ありがとうございます。

市教委：他にも多分いろいろ思うことはあつて意見もあると思うんですけども、何かありますでしょうか。

保護者：次の合同検討会に進むということで、次からですね、こちらについても、（※ノイズのため聞き取れない）皆さんの親御さん来られて研究していただきたいというのと、今回いただいた資料には、今回の議論と何について何を聞きたいのか書いてないので書いていただきたいのと、すべての反対意見にすべて検討するというをおっしゃっていただきましたので、この検討の仕方もですね、回りくどい言い方ではなくって、結論から書いていただきたいと思います。お願いいたします。

市教委：はい。そのように進めたいと思います。ありがとうございます。他ありますでしょうか。よろしいでしょうか。まだまだ多分いろいろあると思うんですけども、ちょっと進め方と私のちょっと理解不足が招いた形で会議の方が進まなかった部分があるのでそちらは大変申し訳ございませんでした。ただ、何回も言います通り、次の合同検討会に進むかどうかということで、3月9日のときには、PTAさんの方で、合同検討会の方に進んでもいいということであれば、区長会さんの方も進んでもよろしいといったところだったものですから、申し訳ないですけども、ちょっと足りなかった部分は早急に私の方でデータを皆さんにお示ししたりという作業はしますので、この場で合同検討会に進んでもいいということでPTA会長さんには意見もらいましたので、その後のフォローとか、合同検討会についても、きっちり情報提供させていただきますので、合同検討会の方に進んでいいかということで、ご理解いただきたいんですけども、よろしいでしょうか。大丈夫でしょうか。納得はしないと思うんですけど、ご理解いただいて、こちらの方も頑張ってやりますので、合同検討会に進めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。（拍手あり）

5 閉会

市教委：8時ぐらいまでは思ったんですけど、ちょっと時間かりましたのがこれで第2回の統合検討会を終わらせていただきます。本当にこちら側の不手際で、いろいろ皆さんに逆に不安を与えたみたいな形ですので、今後その不安をさらに払拭するような形で進めたいと思いますので、合同検討会に行ってもまたよろしく願いしたいと思います。それではこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。